

令和4年度 第1回 関市公共交通活性化協議会 議事要旨

日時 令和4年6月22日(水) 14:00~15:30
場所 関市役所6階大会議室
出席者 ・委員 議案書P1のとおり(19名(うち代理出席3名))
・事務局 都市計画課 長屋 隆司
都市計画課 和田 正樹
都市計画課 中島 諒子
都市計画課 中嶋 恭崇
傍聴者 1名

■開会

■議事(進行 議長)

議案第1号 令和3年度事業報告

- ・議案第1号について説明(事務局)

【採決】承認

議案第2号 令和3年度決算及び会計監査報告

- ・議案第2号について説明(事務局)

【採決】承認

議案第3号 令和4年度事業計画(案)

- ・議案第3号について説明(事務局)

【採決】承認

議案第4号 令和4年度予算(案)

- ・議案第4号について説明(事務局)

【質疑・意見等】

○市民・利用者代表A

- ・令和4年度は、事業費がかなり少なくなっているが、鵜沼駅や山県バスターミナルへの運行に関する調査費や運行経費は入っているかお聞きしたい。
→事務局がアンケートなどの調査や運行経路の選定、運行経費の試算を行い、実現の可能性が出てきたら、市として予算計上する。(事務局)

○市民・利用者代表A

- ・前述のアンケートの対象地域がどこになるのかお聞きしたい。

→まだ決まっていないので、これから相談して決めていきたい。(事務局)

○学識経験者

- ・以前、岐阜バスが鵜沼駅までバス運行を実施していたが、全く利用が無かったため、運行開始からわずかで廃止になったので、今回、新規投資するのは難しいと思う。
- ・関市にある岐阜医療科学大学が鵜沼駅まで片輸送のスクールバスを運行しているので、その回送便を利用してみてはどうかと思う。実現すれば、財政負担を抑えられ、バス運行会社にとっても利益が上げられるかもしれない。ただし、バス運行会社や岐阜医療科学大学との調整が必要となるが、既存のものを活用する考え方もあっても良いかと思う。

【採決】承認

議案第5号 生活交通確保維持改善計画(案)

- ・議案第5号について説明(事務局)

【質疑・意見等】

○学識経験者

- ・生活交通確保維持改善事業の補助申請に係る協議なので、以下のとおり、議題名を変更していただきたい。
「地域公共交通計画(案)」→「生活交通確保維持改善計画(案)」
- ・補助対象路線を明確にするため、関市地域公共交通計画P13の1-1「公共交通の運行」に以下の文言を追記していただきたい。
「●本計画書4ページに記載したフィーダー系統路線について、国庫補助等を活用しながら、確保・維持します。」
- ・議案書P15の補助計画の評価指標について、今年度ではないが、どこかのタイミングで関市地域公共交通網形成計画のものから切り替える必要がある。

【採決】承認

議案第6号 自家用有償旅客運送の登録

- ・議案第6号について説明(事務局)

【質疑・意見等】

○岐阜運輸支局

- ・地域内バスは、現状の運行と特段変わらず、有償化すると理解している。
- ・本会議で協議が調って登録となれば、岐阜運輸支局から各運行団体に輸送の安全などについて指導する。市からも地域内バスの点呼や健康管理などの指導をお願いしたい。

○学識経験者

- ・本協議会資料以外の登録申請書の添付資料に問題がないかを確認していただき

い。

- ・板取地域内バスの登録申請書にある「3. 路線又は運送の区域」の「(1) 路線」だけでなく、「(2) 運送の区域」に記載があるが、板取地域内バスはデマンドによる運行を始める予定があるのかお聞きしたい。

→今現在、デマンド運行の予定はないが、岐阜運輸支局に事前確認したところ、「(2) 運送の区域」の部分も記入するよう指示をいただいた。(事務局)

○事業者代表 A

地域内バス運行は、過疎地域の交通弱者にとって良い計画だと思うが、市によりバス運行を拡大する場合は、拡大対象地域を運行する交通事業者事前に相談するなど計画的に進めていただきたい。今回、議題に挙がっている区域であれば問題ないと思う。→他地域で新たな運行形態の導入(デマンドなど)によって、地元の民間企業の交通事業を圧迫する問題があると聞いているが、今回、議題に挙げた地域については、運行形態の変更などは無いので問題ないと認識している。ただし、今現在、定時定路線で運行している上之保・武芸川・板取地域は、運行経費がかさむため、運行団体からデマンド運行の要望が挙がっている。今後、デマンド運行を検討する際は、本協議会や地元の交通事業者と事前協議し、他地域で起こっている問題が無いようにしていきたい。(事務局)

○学識経験者

- ・交通事業者に依頼できるものは、交通事業者に依頼し、どうしてもできない場合は、自家用有償旅客運送などで対応するのが良いと思う。
- ・運行団体にとって、運行管理等が負担になってくるのであれば、事業者協力型という形をとることができるので、どこかのタイミングで交通事業者に活躍していただくことも検討していただければと思う。

○岐阜県公共交通課

今回、議題に挙がっている地域内バスでは、事業者協力型の導入について検討されているのかお聞きしたい。

→今現在、事業者協力型の導入は考えていないが、地域内バス運転手の高齢化などにより、今後、運行団体によるバス運行の維持が困難になれば、検討していく必要がある。(事務局)

【採決】承認

■報告(進行 議長)

報告第1号 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果

- ・報告第1号について説明(事務局)

報告第2号 関シティバス(買い物循環線、関上之保線)バス停留所の移設

・報告第2号について説明（事務局）

報告第3号 デマンドバス（わかくさ・迫間線）バス乗降所の新設

・報告第3号について説明（事務局）

■議事終了

■閉会